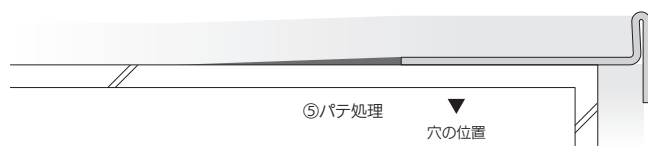


Previo R7

ステンレス段鼻保護見切り

施工要領書 —鉄骨階段(非モルタル)—

Previo R701/R702/R703 R707/R708/R711



施工前の確認事項

- R705・R715の最小アール値は1,000mmです。
- 段鼻がR3以上の鉄骨階段およびチェッカープレート階段には使用できません。
- 蹴込み板の上端および両端の溶接盛り除去が必要です。
- 以下の手順を順守してください。
 - ①蹴込みへの床材の貼り込み(塗装の場合は不要)
 - ②ノンスリップの設置 ③踏面への床材の貼り込み
- ※①において、床材は蹴込み上端いっぱいまで、はみ出さないように貼り込みます。

推奨工具

- ビス
 - ・小頭タッピングビス[ステンレス] 3.5×25 | 品番：75-237
- 鉄工ドリルビット
 - ・Φ3.2 | 品番：75-333
- 接着剤
 - ・変成シリコン樹脂系接着剤工ボキシ含有 | 品番：75-704

Ver.2026.06

Previo R705/R715 (アール階段用)



施工方法

- ①蹴込み板の上端および両端の溶接盛りが除去されていること、段鼻がR3以下の可能な限りピン角であることを確認します。
- ②本体の既設穴を通して、鉄板に鉄工ドリルで下穴を垂直にあけます。取付けピッチは、両端70mm以内、中間300mm以内となるようご注意ください。
 - ※R705・R715の場合、両端は70mm以内、中間はアールの状況に応じて細かいピッチで取付けます。
- ③本体を外し、切り粉などを完全に除去します。
 - ※サビの原因となりますのでご注意ください。
- ④本体に接着剤を適量塗布し、段鼻に圧着。小頭タッピングビスで固定します。
 - ※踏板の裏側に突出したタッピングビスの先端は、必要に応じてカットし、タッチアップしてください。
 - ※ビス頭が本体の上面からはみ出すと、床材の表面にビス跡が出る可能性があります。ご注意ください。
 - ※R705・R715のビス止め後に本体の一部が浮き上がる場合はビスで押え込みます。
- ⑤床仕上げ面を美しく保てるよう、本体端部の段差をパテで処理します。(上図⑤)
 - ※接着剤が完全に硬化し本来の機能を発揮するまで、設置品には力を加えないようご注意ください。